

予算決算常任委員長報告

令和6年9月26日

今期定例会において、予算決算常任委員会に審査付託となりました議案12件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

本委員会では、去る9月11日から24日まで委員会を開催し、担当部局長等の出席を求め、慎重に審査いたしました。

また、20日には総務・教育民生・産業建設の各分科会を開催し、全体会の中で、分科会での自由討議が必要と意見が出された事業等について、議員間における自由討議を行い、24日に各分科会から主査報告を行って意見集約しました。

議案第86号「令和5年度三次市一般会計歳入歳出決算認定について」は、審査の結果、賛成多数をもって原案のとおり認定してよいものと決しました。

議案第87号「三次市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について」外議案6件については、審査の結果、いずれも全員一致をもって原案のとおり認定してよいものと決しました。

議案第94号「令和6年度三次市一般会計補正予算（第3号）（案）」外議案3件については、審査の結果、いずれも全員一致をもって原案のとおり可決してよいものと決しました。

主査報告及び自由討議から集約した意見を申し上げます。

総務分科会からは、高齢者運転免許自主返納支援事業について、引き続き、利用しやすい地域公共交通の検討を進めるとともに、現在、実施している事業の利用拡大等の検討が必要であるとの意見、三次市シティプロモーション戦略の見直しに当たっては、評価と検証を行う中で、事業の必要性等をよりわかりやすく表す視点が必要であること、限られた予算で効果を挙げていくために、ターゲットを細かく絞った働きかけや、話題性が生まれるような一点突破の取組の検討も必要であるとの意見が報告されました。

全体会での自由討議では、高齢者運転免許自主返納支援事業について、家族負担の実態や地域によって交通事情が異なる現実に対応するのか、国の支援についても研究し、例えば、超小型モビリティやシニアカー、衝突被害軽減ブレーキなどの安全技術が搭載されている車の購入支援など色々な視点が必要ではない

かとの意見が出されました。

シティプロモーション事業については、この事業が一般的にあまり認知されていないので、シティプロモーション事業をわかりやすく発信する検討が必要なのではないかとの意見が出されました。

教育民生分科会からは、学校給食調理場整備事業について、アレルギー対応をはじめ安心安全な学校給食を提供するためには、当事者である子どもたちの声、現場で働いている栄養士や調理員等の声を聞きながら運営し、設備を活用したきめ細やかな調理場運営に今後も努めてほしい。また、継続費という手法による事業が完結した時点で、期待された効果が得られたのか検証が必要であるといった意見、医師育成奨学金貸付事業については、小・中学校といった早い段階から周知に取り組み、子どもたちの未来を後押しできるよう、事業の活用が進むことを期待するとの意見が報告されました。

全体会での自由討議では、学校給食調理場整備事業について、三次の野菜等を使用した地産地消の取組が、更に進むことを期待するとの意見が出され、医師育成奨学金貸付事業については、開業医が減少している中で、医師確保の取組とともに、地域医療を守るための支援の検討も併せて必要であるとの意見が出されました。

産業建設分科会からは、君田トエンティワン清算支援補助について、この事案を教訓として、第三セクター等の健全な経営が維持されるよう、市として、国の指針を参考に適切な関与に対する検討が必要であるとの意見が報告されました。

全体会での自由討議では、第三セクターである君田トエンティワンに対して、議会としての関与が足りなかったのではないかとこの意見に対しては、議会としての関わり方について、議会の権能に照らして慎重に検討していかなければならないとの意見が出されました。

以上、述べました事項のほか、委員会審査において各委員から述べられた指摘及び意見についても、今後、施策に十分に反映していただくよう要望し、委員長報告を終わります。